

4月 18-24 日

## サムエル第一 23-24 章

114 番の歌と祈り

開会の言葉 (1 分)

神の言葉の宝

「辛抱強くエホバを待つ」 (10 分)

宝石を探し出す (10 分)

サムー 23:16, 17 サウルの子ヨナタンはホレシヤのダビデの所に出掛けていき、エホバへの信頼を強めるよう助けた (d\*エホバに関して彼の手を強くした)。17 ヨナタンは言った。「恐れることはありません。私の父サウルがあなたを見つけることはありません。あなたはイスラエルの王になり、私はあなたの次の地位に就きます。父サウルもそうなることを知っているのです」

ヨナタンの手本にどのように倣えるか。

(塔研 17.11 27 ページ 11 節賞を奪い取られないようにしてください)

11 愛と親切を培うなら、ねたみの感情に簡単に屈することはないはず

です。聖書は、「愛は辛抱強く、また親切です。愛はねた[みません]」と述べています。(←コリ一 13:4) ねたみの感情が心に根づかないようにするには、神がご覧になるような仕方で物事を見る必要

があります。兄弟姉妹を会衆という同じ体の一部と見るのです。「ひとつの肢体が栄光を受ければ、ほかのすべての肢体が共に歡ぶのです」と聖書は述べています。(←コリ一 12:16-18) また、もし耳が、「私は目ではないから、体の一部ではない」と言ったとしても、体の一部でないことにはなりません。17 もし全身が目だとしたら、どこで聞くのですか。もし全身が耳だとしたら、どこでにおいを嗅ぐのですか。18 神は望みのままに体の各器官を配置したのです、(←26) 他の人が祝福を受けたなら、ねたむのではなく、喜びましょう。サウル王の息子ヨナタンのことを思い出してください。ヨナタンは、王になるよう任命されたダビデを

ねたむどころか励ましました。(←サムー 23:16-18) あなたはヨナタンのように親切で愛情深い人になれるか。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

サムー 25:17 で召使いの 1 人はナバルを「全くどうしようもない方」と述べ、この参資付の脚注を見ると、字義的には「ベリアルの子」と説明。使徒パウロがキリストとベリアルの間は何の調和もないことを述べている(コリ二 6:15)ように、1 世紀までには「ベリアル」はサタン

の名として用いられていた。今日でも世に影響されたベリアルの子のような人々が居るので、時に厳しい反応



に遭っても驚く必要はない。しかしエホバはそのような人々の命も気遣っておられるに違いない。サタンの先兵だったパウロ自身、エホバの憐れみにより、後にクリスチャンになったように、私たちも時があることを忘れず、宣教に、積極的に与かっていきたいと思う。

聖書朗読（4分）[サムー 23:24-24:7](#)（[教励 第 10 課](#)）

## 野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分）[話し合いのサンプル](#)を用いて話し始める。区域でよくある反対意見に対応する。（[教励 第 6 課](#)）

再訪問（4分）[話し合いのサンプル](#)を用いて話し始める。宣教ツールボックスの出版物を提供する。（[教励 第 13 課](#)）

話（5分）[塔研 19.03 23-24 ページ 12-15 節](#) 主題: 教える際に辛抱強さを示す。（[教励 第 14 課](#)）

## クリスチャンとして生活する

### [128 番の歌](#)

「[どんな試練にも終わりがある](#)」（15分）討議。「[分裂した世界で一つに結ばれる](#)」の動画を再生する。

会衆の聖書研究（30分）[清 解明された点のまとめ, 質問 5-8](#)

閉会の言葉（3分）

### [96 番の歌](#)と祈り

^ ([サムー 23:1-24:22](#)) ダビデに、「フィリスティア人がケイラを攻めており、脱穀場を略奪している」という報告があった。2それでダビデはエホバに尋ねた。「私はフィリスティア人を討ちに行くべきでしょうか」。エホバはダビデに言った。「行きなさい。フィリスティア人を討ってケイラを救いなさい」。3ダビデの部下たちが言った。「私たちはここユダにしながら恐れています。ケイラに行ってフィリスティア人の戦列に立ち向かうとなれば、なおさらでしょう」。4ダビデはもう一度エホバに尋ねた。エホバは答えた。「立って、ケイラに下っていきなさい。私はあなたをフィリスティア人に勝たせるからだ」。5それでダビデは部下たちと共にケイラに行き、フィリスティア人と戦い、家畜を奪って大勢の人を討った。こうしてダビデはケイラの住民を救った。6さて、アヒメレクの子アビヤタルは、ケイラのダビデのもとに逃げた時、エフォドを持っていた。7サウルは、「ダビデがケイラに来了」という報告を受けた。それでサウルは言った。「神は彼を私の手に渡してくださった。彼は門とかんぬきのある町に入って逃げられなくなった」。8サウルは、ケイラに下ってダビデとその部下たちを包囲しようと、兵士たち皆を招





神の言葉の宝

## 辛抱強くエホバを待つ

ダビデは試練となる状況を終わらせることもできた。 ([サムー 24:3-5](#))

ダビデは物事をエホバの観点から見て、自分を制した。 ([サムー 24:6, 7](#))

ダビデは、エホバが問題を解決してくれることを確信していた。 ([サムー 24:12, 15](#)。 [塔 04 4/1 16 ページ 8 節](#))

ダビデのように辛抱強くエホバを待つことは大切。聖書の原則に沿わない方法で問題を解決しようとしてはならない。 ([ヤコ 1:4](#)。 [塔 04 6/1 22 ページ 5-6 節](#))





クリスチャンとして生活する

## どんな試練にも終わりがある

試練を経験すると落胆しやすいものです。いつまで続くか分からないときは特にそうです。ダビデもサウル王によって苦しめられました。しかしダビデは、試練はいつか終わり、自分がエホバの約束通り王になることを確信していました。（サムー 16:13 サムエルは油が入った角を取り、兄たちの前で彼に油を注いだ。その日からダビデはエホバの聖なる力を受けるようになった）そして、信仰によってエホバを辛抱強く待つことができました。

試練に遭うとき、知識を活用したり、思考力を働かせたり、賢く行動したりして、状況を変えることができるかもしれません。（サムー 21:12-14 ビデはこの言葉を気にして、ガトのアキシュ王を非常に恐れた。13 それで彼は家来たちの前で気が狂ったふりをし、拘束されても、狂人のように振る舞った。門の扉に印を付けたり、顎ひげによだれを垂らしたりした。14 ついにアキシュは家来たちに言った。「この男は気が狂っているではないか！ 何で連れてきたんだ。格 1:4 経験のない人を聡明にし、若者に知識と思考力を与えるためのもの）でも、聖書の原則を当てはめて自分にできることを全て行っても、なかなか問題が解決しないことがあります。そのようなときは、エホバを辛抱強く待つ必要があります。エホバは、間もなく私たちの苦しみを全て終わらせ、私たちの目から「全ての涙を拭い去[って]」くださいます。（啓 21:4）問題がエホバによって取り除かれるとしても、ほかの理由によってなくなるとしても、次のことは確かです。どんな試練にも終わりがある、ということです。そのことを考えると慰められます。



「[分裂した世界で一つに結ばれる](#)」の動画を見て、次の質問に答えましょう。

### ①米国南部の兄弟姉妹は、どんな問題を経験しましたか。

- ・ 当時は白人の家も黒人の家も肌の色に関係なく、全部の家を訪問していた。
- ・ 学校では人種差別と闘う活動に加わるよう圧力を受けた。
- ・ いろいろな問題を耳にした。南部で起きている人種差別が良く報道されていた。
- ・ (マービン・ベンフォード B) こう考える人が居るかも、周りでは人々が分裂していたのに、エホバの証人が黒人も白人も関係なく、皆仲良くしていられたのはどうしてなのか？
- ・ (サミュエル・ブラウン B) ニューヨーク州ユティカで育った。1956年の王国宣教に必要な大きな所での奉仕の記事が載った。  
南部で奉仕できる黒人の兄弟姉妹が必要だとのこと。
- ・ (モーゼル・マギー S) 1956/6/2 にアル・マギーと結婚。そのころハランディールの大会で、T J サリバン B が必要の大きな所で奉仕することについて話した。新婚の夫婦にもそのような奉仕をするよう励ました。私たちもやってみたいと思い、夫が支部に手紙を書き、フロリダ州に割り当てられた。その後1962年に巡回奉仕を始めた。最初の巡回区のアラバマ州では人種分離制度が続いていた。
- ・ (ウィリアム・シムズ B) 妻のエドナーと一緒にいろいろな場所で開拓奉仕をした。最後に奉仕したのは、ノースカロライナ州で、その後巡回奉仕に割り当てられた。ノースカロライナ州、サウスカロライナ州、ジョージア州を含む巡回だった。その後ギレアデに招待された。
- ・ (ジェームズ・トムソン B) 1949年4月23日に結婚した。妻と一緒に全時間奉仕を70年続けている。アラバマ州で巡回奉仕をしたこともある。
- ・ B 初めて巡回奉仕をしたのはミシシッピ州で、人種差別が一番酷い州として知られていた。そこで奉仕を始めた頃、ミシシッピ州フィラデルフィアで、公民権運動の活動家3人が殺害される事件があった。そういう地域だったので、いろいろ大変だった。

### ②兄弟姉妹は辛抱強さや愛をどのように示しましたか。

- ・ B 宣教に打ち込んでいたので、人種問題にあまり気を散らせませんでした。黒人は黒人のエリアで、白人は白人のエリアで伝道した。人種分離の法律に従って伝道していた。
- ・ (マギー S) あちこちで抗議活動があり、人々は怒りを露わにしていた。アラバマ州では抗議デモが良く行われました。そんな時は町の中ではなく、家の近くで伝道した。土曜日午後に行っていた街路証言も取りやめた。
- ・ B 当時リーダムライダと呼ばれるグループが南部行のバスに乗り込み、人種差別に抗議していた。黒人の投票権のために活動する人たちもいた。ミシシッピ州ではいくつもの団体が公民権のために活動していた。彼らは私たちの伝道活動に目を付け、公民権についても人々に話してくれないかと、持ちかけてきた。
- ・ ギレアデ27期のクラスメートに黒人の兄弟が居て、とても親しくなった。ギレアデ卒業後割り当てられた場所に向かう途中で、その兄弟と一緒にアラバマ州の大会に出席しました。そこでは黒人が座るエリアと白人が座るエリアが別々になっていたのも、一緒に座ることが出来なかった。とても悲しかった。
- ・ B テレビのトークショーに出たことがある。巡回監督と私の他に、カトリックの司祭と監督教会の牧師が出演した。監督教会の白人の牧師に人種差別への抗議活動にどう支援しているか？聞かれた。黒人の私は全く関わっていないと答えた。違いがはっきりした。彼らが抗議活動を止めて伝道を支援しないのですから、私たちが伝道を止めて抗議活動を支援する筋合いはない。
- ・ B 兄弟姉妹はいつも互いを気に掛けていた。黒人の会衆と白人の会衆に分かれていたが、互いを愛し気遣っていた。
- ・ B 私たちは法律上一緒に集会を開くことができなかった。でも話したり訪問したりすることはできた。黒人と白人の兄弟たちは助け合った。私たちが集まるための施設が借りられないときは



、白人の兄弟たちが援助してくれた。お互いに協力していた。その後幾つかの新しい法律が制定され、会衆の統合が始まった。

・B 長老たち全員が集まる大きな会合があった。区域の調整など、会衆をどのように統合するかを話し合った。

・B 統合すると周囲の人々が怒って危害を加えてくるのではないかと心配する兄弟姉妹も居た。実際被害を受けた王国会館もあったと思う。でも学校や大学で人種の分離を止める動きが進んでいた。一般社会でそれができるのなら、私たちにできないはずはない。

・S 会衆の統合は順調に行われた。エホバの導きがあった。

③兄弟姉妹は、どのように「より重要なこと」に目を向け続けましたか。(747 1:10 皆さんがより重要なことを見極め、キリストの日までずっと純粋でいて、人の信仰を妨げることがありませんように。)

・B 黒人白人に関係なく、私たちには共通点がある。皆エホバを愛している。そしてエホバが私たちを一つに結び合わせた。人間の力によるものではありません。私たちの心は一つです。

・B 多くの人が私たちの様子に目を留めた。ある兄弟が黒人の家も白人の家も訪問していたときのこと、出てきた女性に、エホバの証人が白人も黒人も一緒に活動している姿を見るのは嬉しい、この日が来るのを待っていた、と言われた。

・B エホバの聖なる力のおかげで、世界中の兄弟姉妹が一つに結ばれている。私たちは皆不完全だが、一つの大きな家族です。本当に素晴らしいこと。

・B 私たちは一つの組織に居る仲間だと頭では分かっていたましたが、それを本当に実感できるようになりました。肌で感じられるようになった。

・B エホバを愛し、仲間を愛していた。それが鍵です。エホバが一つに結び合わせたのですから、誰も引き離せない。

・S サタンは人々を分れるさせようとしませんが、イエスは人種に関わりなく、全ての人のために亡くなった。その恩恵を受けられない人がいるのでしょうか？誰も居ない。

^ (サムー 16:13) サムエルは油が入った角を取り、兄たちの前で彼に油を注いだ。その日からダビデはエホバの聖なる力を受けるようになった。その後サムエルは立ってラマに向かった。

^ (サムー 21:12-14) ダビデはこの言葉を気にして、ガトのアキシュ王を非常に恐れた。13 それで彼は家来たちの前で気が狂ったふりをし、拘束されても、狂人のように振る舞った。門の扉に印を付けたり、顎ひげによだれを垂らしたりした。14 ついにアキシュは家来たちに言った。「この男は気が狂っているではないか！ 何で連れてきたんだ。」

^ (格 1:4) 経験のない人を聡明にし、若者に知識と思考力を与えるためのもの。